加茂郡坂祝町大針•黒岩



発掘区

東野遺跡は、加茂野台地の東端に位置します。縄文時代から中世の集 落跡、弥生時代末から古墳時代、近世の墓域を確認しました。集落跡か らは竪穴建物、掘立柱建物、区画溝、墓域からは弥生時代末から古墳時 代初頭の方形周溝墓や近世の墓坑を確認しました。今回の調査と平成 15・16年度の調査から、縄文時代や古墳時代前期の集落は段丘の縁に南 北に、弥生時代や古代の集落は遺跡の南部に、古墳時代後期の集落は遺 跡の北と南にそれぞれまとまっていたことがわかりました。



磨製石鏃未製品

弥生時代は、中期の終 わり頃から集落が営まれ ます。弥生時代後期の竪 穴建物 (SI13) から、磨 製石鏃や磨製石鏃未製品 と、砥石や敲石などの製 作用工具が出土しました。 このことから、弥生時代 後期は磨製石鏃製作地で あったと考えられます。



今から約 13000 年前 約 150 年前 約 5000 年前 約 2300 年前 約 1700 年前 約 1200 年前 約800年前 約 400 年前 約 1400 年前 縄文 古 中 世 世 旧石器 古 代 近 弥 生 近代 墳 鎌倉 室町 早 後 晩 中 後 後 草 前 中 前 後 中 前

代初頭には、竪穴建物と 方形周溝墓がつくられ、 集落と墓域であったこと がわかりました。

弥生時代末から古墳時